



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 株式会社 フェイス

上場取引所 東

コード番号 4295 URL <http://www.faith.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平澤 創

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者

(氏名) 佐伯 次郎

TEL 03-5464-7633

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,413	△88.5	564	△48.0	569	△50.7	509	△91.7
24年3月期第2四半期	29,787	△21.8	1,084	6.6	1,154	6.6	6,148	985.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 455百万円 (△92.9%) 24年3月期第2四半期 6,442百万円 (872.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	443.82	—
24年3月期第2四半期	5,355.72	5,353.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	22,180	20,017	90.2	17,426.09
24年3月期	23,518	19,618	83.3	17,066.74

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 20,006百万円 24年3月期 19,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
25年3月期	—	50.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	△79.7	600	△61.9	610	△65.3	550	△91.7	479.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	1,196,000 株	24年3月期	1,196,000 株
25年3月期2Q	47,950 株	24年3月期	47,950 株
25年3月期2Q	1,148,050 株	24年3月期2Q	1,148,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は、本日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

国内における携帯・スマートフォンの契約数は、1億2,000万件^(※1)を超え、成熟期を迎えております。特に、スマートフォンの平成24年度出荷台数は、約2,800万件に到達し、携帯電話総出荷台数の約64.5%^(※2)と高い水準を維持しています。このように、スマートフォンやタブレット等の急速な拡大、データ通信対応や、LTEサービスの加速等が進むとともに、携帯・スマートフォンの世界市場は、加入者数60億人^(※2)を超え、今後ますますユーザーニーズに即した新たなサービスやコンテンツ流通のしくみ創りが求められています。

※1 電気通信事業者協会調べ、※2 IDC Japan調べ

このような多様化する市場環境下において、当社グループは、『マルチコンテンツ&マルチプラットフォーム戦略(様々なコンテンツを、必要なときに、必要な場所で楽しむことができる環境の創造)』のもと、クオリティの高い優良コンテンツを創出・集約し、ユーザーへ届けるためのコンテンツ流通のしくみ創りに注力しております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は平成23年7月に当社の連結子会社であった株式会社ウェブマネーの全株式を売却したこともあり前年同期比88.5%減の3,413百万円、営業利益は前年同期比48.0%減の564百万円、経常利益は前年同期比50.7%減の569百万円、四半期純利益は前年同期比91.7%減の509百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますので、前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

<コンテンツ事業>

「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」と「新たな事業基盤の構築」に努めました。

米キャッチメディア社などとの合弁会社であるキャッチメディアジャパン株式会社が国内向けに独占提供するクラウド型コンテンツ配信ソリューション「Play AnywhereTM」を用いた配信事業が平成24年4月2日からスタートいたしました。また、当社と日本コロムビア株式会社が共同で手掛けたAKB48から派生した人気ユニット“Not yet”の初の冠番組「ヨンパラ」(TBS系列で平成23年10月から平成24年3月まで放送)のDVDが発売され、話題となりました。日本コロムビア株式会社と合弁で設立いたしました株式会社フューチャーレコーズからは、“rieco(リエコ)”が資生堂「ホワイトルーセント美白ケア向上委員会」イメージソング「Shining」、 “Pafe0ke-パフェオケ-”が、日本テレビ系「ハッピーMUSIC」のパワープレイソング「Asian Breeze」でデビューしております。さらに、膨大なコンテンツから自分好みの動画をレコメンドする機能を備えた、モバイル動画アプリ「FaRao TV」のサービスを平成24年10月20日から開始しております。「FaRao TV」は、当社が開発した日本初のレコメンドエンジン「FaRaoエンジン」により実現し、国内外の配給会社、制作会社から提供されたSF、アクション、ドラマ、ホラー、サスペンス等、多岐に渡るジャンルの映画の予告や本編のショートバージョン動画等をスマートフォンにて無料で楽しむことができ、第25回東京国際映画祭の公認アプリとしても採用されました。

以上の結果、コンテンツ事業の売上高は着信メロディ事業の減収等により前年同期比15.8%減の2,756百万円となり、営業利益は前年同期比11.0%減の495百万円となりました。

<ポイント事業>

ポイント事業については、ポイントカードによる売上は堅調に推移いたしましたが、家電エコポイントの交換申請期限の到来に伴う商品供給の減少により、売上高は前年同期比17.5%減の656百万円となり、営業利益は前年同期比27.9%減の68百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態の分析)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,338百万円減少し、22,180百万円となりました。主として現金及び預金、投資有価証券が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,736百万円減少し、2,163百万円となりました。主として法人税等の納付に伴う未払法人税等の減少および返済による長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて398百万円増加し、20,017百万円となりました。これは、配当金の支払いがあったものの、四半期純利益を計上したこと等によるものであります。これにより、自己資本比率は6.9ポイント増加して、90.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、8,971百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益601百万円に減価償却費141百万円を加算し、法人税等の支払額1,376百万円を控除したこと等により、668百万円の支出（前年同期は2,450百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が4,490百万円あったものの、定期預金の預入による支出が3,532百万円あったこと等により、976百万円の収入（前年同期は5,956百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が199百万円、配当金の支払額が56百万円あったため、259百万円の支出（前年同期は282百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、平成24年11月2日に修正いたしました数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,712,005	12,763,829
受取手形及び売掛金	1,106,836	1,070,690
有価証券	239,790	439,665
商品及び製品	2,580	14,479
仕掛品	8,199	5,698
原材料及び貯蔵品	7,817	6,499
繰延税金資産	28,269	28,269
その他	260,218	100,269
貸倒引当金	△29,816	△28,037
流動資産合計	15,335,901	14,401,366
固定資産		
有形固定資産	3,007,786	2,938,943
無形固定資産		
のれん	40,599	28,434
その他	382,135	372,552
無形固定資産合計	422,734	400,987
投資その他の資産		
投資有価証券	4,644,916	4,366,308
その他	121,294	73,726
貸倒引当金	△13,734	△548
投資その他の資産合計	4,752,477	4,439,486
固定資産合計	8,182,998	7,779,417
資産合計	23,518,900	22,180,783
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	187,933	185,272
短期借入金	399,984	399,984
未払法人税等	1,424,393	116,667
ポイント引当金	208,142	192,376
賞与引当金	73,566	93,824
その他	614,625	394,491
流動負債合計	2,908,644	1,382,617
固定負債		
長期借入金	733,384	533,392
繰延税金負債	125,729	107,857
退職給付引当金	109,389	119,110
その他	22,846	20,686
固定負債合計	991,350	781,046
負債合計	3,899,995	2,163,664

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,708,355	3,708,355
利益剰余金	13,106,638	13,558,762
自己株式	△651,377	△651,377
株主資本合計	19,381,616	19,833,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227,124	194,048
為替換算調整勘定	△15,270	△21,766
その他の包括利益累計額合計	211,853	172,282
少数株主持分	25,435	11,096
純資産合計	19,618,905	20,017,119
負債純資産合計	23,518,900	22,180,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	29,787,892	3,413,657
売上原価	25,645,715	1,675,952
売上総利益	4,142,176	1,737,705
販売費及び一般管理費	* 3,057,951	* 1,173,614
営業利益	1,084,225	564,090
営業外収益		
受取利息	7,878	17,013
受取配当金	3,392	3,767
有価証券利息	11,565	1,729
持分法による投資利益	65,997	—
雑収入	3,495	2,062
営業外収益合計	92,329	24,573
営業外費用		
支払利息	8,573	3,888
持分法による投資損失	—	3,094
投資事業組合損失	—	4,165
為替差損	12,186	8,393
雑支出	1,472	103
営業外費用合計	22,232	19,646
経常利益	1,154,322	569,017
特別利益		
固定資産売却益	—	316
投資有価証券売却益	28,795	51,400
関係会社株式売却益	6,899,538	—
その他	63,000	—
特別利益合計	6,991,334	51,716
特別損失		
固定資産処分損	1,059	5,015
投資有価証券評価損	—	2,573
関係会社株式売却損	79,565	—
海外税務関連損失	—	11,892
特別損失合計	80,625	19,481
税金等調整前四半期純利益	8,065,031	601,251
法人税等	1,771,504	106,064
少数株主損益調整前四半期純利益	6,293,527	495,187
少数株主利益又は少数株主損失(△)	144,895	△14,339
四半期純利益	6,148,632	509,526

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,293,527	495,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,415	△32,933
持分法適用会社に対する持分相当額	177,619	△6,636
その他の包括利益合計	149,204	△39,570
四半期包括利益	6,442,731	455,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,297,836	469,955
少数株主に係る四半期包括利益	144,895	△14,339

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,065,031	601,251
減価償却費	136,857	141,486
のれん償却額	184,481	12,165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32,472	△1,809
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,242	20,258
利用原価引当金の増減額(△は減少)	405,173	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△9,536	△15,765
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,672	9,721
受取利息及び受取配当金	△11,271	△20,780
有価証券利息	△11,565	△1,729
支払利息	8,573	3,888
為替差損益(△は益)	11,933	10,903
投資有価証券売却損益(△は益)	△28,795	△51,400
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,573
関係会社株式売却損益(△は益)	△6,819,973	—
持分法による投資損益(△は益)	△65,997	3,094
固定資産売却損益(△は益)	—	△316
固定資産処分損益(△は益)	1,059	5,015
売上債権の増減額(△は増加)	△1,236,134	39,539
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33	△8,081
仕入債務の増減額(△は減少)	2,490,926	△2,668
未払消費税等の増減額(△は減少)	△73,278	27,990
その他	△229,874	△97,518
小計	2,816,020	677,819
利息及び配当金の受取額	17,003	33,387
利息の支払額	△8,573	△3,890
法人税等の還付額	3,881	537
法人税等の支払額	△377,558	△1,376,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,450,772	△668,885

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,260,000	△3,532,145
定期預金の払戻による収入	1,270,000	4,490,000
有価証券の取得による支出	△199,590	—
有形固定資産の取得による支出	△293,494	△26,385
ソフトウェアの取得による支出	△92,519	△78,946
投資有価証券の売却による収入	29,636	61,400
関係会社株式の取得による支出	△79,997	—
関係会社株式の売却による収入	197,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	414,654	—
子会社の清算による収入	—	28,318
貸付金の回収による収入	60	60
敷金の回収による収入	2,984	29,225
その他	54,853	4,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,956,412	976,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△2,136
長期借入金の返済による支出	△199,992	△199,992
配当金の支払額	△56,788	△56,944
少数株主への配当金の支払額	△25,801	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282,582	△259,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,933	△10,596
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,800,156	37,757
現金及び現金同等物の期首残高	10,321,601	8,961,796
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△28,338
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 6,521,445	※ 8,971,215

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	電子マネー	ポイント	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,274,731	25,717,225	795,935	29,787,892	—	29,787,892
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	54,291	400	—	54,691	△54,691	—
計	3,329,022	25,717,625	795,935	29,842,583	△54,691	29,787,892
セグメント利益	557,347	430,774	94,502	1,082,623	1,601	1,084,225

(注) 1. セグメント利益の調整額1,601千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,756,986	656,671	3,413,657	—	3,413,657
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,041	—	9,041	△9,041	—
計	2,766,027	656,671	3,422,699	△9,041	3,413,657
セグメント利益	495,912	68,094	564,006	84	564,090

(注) 1. セグメント利益の調整額84千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「コンテンツ事業」及び「電子マネー事業」の2区分から、「コンテンツ事業」及び「ポイント事業」の2区分に変更しております。

この変更は、平成23年7月19日に子会社である株式会社ウェブマネーの株式を売却し「電子マネー事業」がなくなったこと、及び、従来「その他」に含めていた「ポイント事業」のセグメントとしての重要性が高まったためであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。